

7

2011

主題 (2011/2012)

国際会長 Audere est Facere - To dare is todo
「とにかくやろう-成せばなる」

アジア会長 Audere est Facere - To dare is todo Mission with Faith
「とにかくやろう-成せばなる」 「信念をもって使命をはたそう」

西日本区理事 Contribute to the Community through Active Services with Love
「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

中西部長
「であいで愛」

大阪クラブ会長 There is no time like the present: One for all , all for one
「一期一会 : ひとりひとりを大切に」

会 長 牟 大 盛
直前会長 脇 本 博
副 会 長 森 嶋 弘 明
清水 汎
豊 島 正
書 記 尾 和 信
会 計 北 村 知
プリテン 松 原 三
連絡主事 田 尻 幸 邦

【今月の聖句】

「動かされないようにしっかり立ち、主のわざに常に励みなさい。」

コリントの信徒への手紙 — 15章58節

【7月例会プログラム】(K I C K - O F F ・ E M C - C 強調月間)

とき : 2011年7月12日(火) 18:15 ~ 20:15

ところ : 大阪土佐堀YMCA 9階

司会 北村 知三
脇本 博会長

1. 開会の鐘
2. クラブソング
3. ゲスト紹介
4. 2011/2012 中西部長公式訪問 清水 誠治郎中西部長
5. 会長交代式 司式 清水 誠治郎中西部長
6. 牟新会長挨拶・会長報告
7. 「日々の糧」斉唱・晩餐
8. 総会
 - 1) 決算報告 尾和 信孝会計
 - 2) 新年度予算提出 尾和 信孝会計
 - 3) 会長方針発表と意見交換会 牟 大盛会長
 - 4) 新年度各事業委員長の挨拶と計画
9. 皆勤者、精勤者の表彰
10. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
11. インフォメーション・YMCAニュース
12. 閉会の鐘 牟 大盛会長



於 : 西日本区大会



於 : 6月例会



パサディナ交換留学生
Mr. Nicholas Held さん

受 付 : 森嶋・牟・北村メネット

【第2例会のご案内】

とき：2011年7月19日（火）19：00～20：30

ところ：大阪土佐堀YMC A 6階 603号室（変更になることがありますので、ご注意ください。）

今月の誕生日：該当者なし

メネットさんお誕生日：末岡玲子（4）、脇本真知子（28）

ご結婚記念日：該当者なし

【聖句に寄せて】

宇野 義男

常にとは、どんな時にもということだと思います。人生にはつらい時が良くあり、力がなくなってしまう時があります。そんな時でも「全力」をつくせということです。私達は全力を注げない理由に、「まわりの状況の悪さ」をあげることがあります。しかし、その悪い状況下にこそ「全力」をふり絞って生きようとする心構えが大切だということを教えられます。私の若い時代から、今も、この聖句は私自身の生き方を勇気づけられる座右句です。

【6月出席状況】

6月出席状況	在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
正会員	13	10		2			76.9%	13,000円
功労広義会員	5	1						
合計	18	11		2				

6月例会の出席者

メネット：脇本真知子会長、北村信子メネット

ビジター：なし

ゲスト：なし

2010 - 2011年度例会出席の表彰（メイクアップも含みます）

皆勤賞 脇本会長・北村・松原・牟メン

精勤賞（欠席2回まで） 清水汎（2）、條イサヨ（1）、田尻（1）、豊島（3）、脇本メネット（1）
北村メネット（3）（欠席数）

【会長就任のご挨拶】

会長 牟 大盛

会長標語「一期一会：ひとりひとりを大切に」

「There is no time like the present: One for all, all for one」

2011年度の大阪クラブ会長に、2007年度に続きまして、2回目の会長として任命されました。2007年度は、2008年11月の大阪クラブ創立80周年記念事業を次年度に控えての、国際HH（聴覚障がい者）国際キャンプの年でもあり、記念事業の前倒し事業としてHH国際キャンプを全面的に支援しました。また、80周年記念例会も清水汎準備委員長のご尽力と大阪クラブメン・メネットが一丸となり広報と準備作業に執りかかり無事に遂行できました。2007年 08年の大事業を通しまして、大阪クラブ

がいかに歴史あるクラブであり、また多くのクラブの生みの親でもあることを実感できました。

2010 - 11年度の脇本博会長が中心となり、HH国内キャンプが新YY協働事業として具体化の運びとなりました。11 - 12年度は、各方面の事業につき会員皆様と一緒に下記のとおり推進したく思います。

1) HH国内キャンプを大阪YMCAとの協働事業としまして、8月13 - 15日まで六甲YMCAで初めて実施いたします。

このため、大阪YMCAをはじめ田尻連絡主事とHH国際キャンプのOBOGと協力支援者そして大阪クラブとが一丸となり、無事に成功裡に無事に終了することを祈るばかりです。そして、来年の香港での国際HHキャンプには国内キャンパーの多くが参加されることを願っています。

また、清水汎メンをYMCAサービス事業委員長としてご奉仕いただくこととなりました。

2) また、香港中華YMCA総主事が仲介者となりました、香港九龍(Kowloon)クラブからのIBC締結のリクエストに対しても、6月のクラブ総会で相互交流の期間を設けて、将来のIBC締結の可能性を探ることと決議されました。このため、脇本博メンとIBC事業委員長としてご奉仕いただくこととなりました。

3) 今年は、パサディナクラブから学生が一人大阪クラブを訪問する予定です。昨年は、Jeff Brandeen 会長ご夫婦が、横浜世界大会のついでに大阪クラブ 例会に参加されたことが、相互理解と刺激になりました。長年続いたこの Summer Exchange Program は、クラブが存続する限り孫・ひ孫まで続けたいものと熱望します。

4) しかし、クラブのすべての活動は、クラブ会員一人ひとりの協力とご理解があつてこそ初めて可能といえます。会長標語として「一期一会：ひとりひとりを大切に」とさせていただきました。前期中に、前島正一メンと瓜生菊雄メンがご病氣療養のため退会されたのは残念でなりません。でも、いままでクラブのためご奉仕された功績を引き継ぎまして、クラブの各方面の奉仕と交流事業をとおしてなお一層の会員増強(EMC)つなぐことができますよう、会員の皆様のご関心とご協力をお願いいたします。そのためにも、長期にわたり例会を欠席されている会員との連絡はもちろん、会員一人ひとりが存在感ある会員活動を目指したく思います。そのため、「魅力ある例会の創作」などを皆様と一緒に考えたく思います。

脇本博会長の後任会長としてこの1年間、「学びの心」で臨みますので、皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

【パサディナクラブ交換留学生の報告】

IBC委員 北村 知三

パサディナから来訪される交換留学生が決まりました。Mr. Nicholas Held という男子学生で写真を添付されてきました(1ページ目の写真)。日程は8月8日大阪着で、こちらの行事に合わせてくれるようです。皆様のご協力をお願いいたします。

Personal Biography and Interests

Hello my name is Nick Held. I live in Plymouth, Minnesota; about 20 minutes Northwest of Minneapolis. I am 20 years old and currently attending University of Minnesota Duluth working on my Accounting major. I have two younger sisters. Michelle you will be a freshman in college and Meghan who will be a junior in high school. I like to play a lot of sports including hockey, baseball, and golf. I love being outside participating in outdoor activities. I've always been fascinated in traveling and learning about other countries history and customs. Throughout this trip I would like to better understand how the people of Japan live by exploring the land and surrounding people. I want to learn what they eat, what they do for fun, and any other unique traditions that Japan has

to offer. I want to broaden my perspective on life through communicational and educational purposes while in Japan. I am very excited and looking forward to a wonderful experience!

【Y'サ・ユース事業主査の1年を振り返って】 中西部Y'サ・ユース事業主査 北村 知三

中西部の事業主査に1年間かかわって、自分にとってはワイズメンズクラブの多くのことを改めて学ぶことができましたが、ワイズメンの皆様には不十分なことばかりと思っております。力不足を感じるばかりですが、中西部評議会用に報告した内容を、下記にてお知らせいたします。

今期(2010 - 2011年度)活動報告

- * 西日本区Y'サ・ユース事業主査会に参加
- * 大阪YMCAチャリティーランに支援金50,000円贈呈
- * YYフォーラム実施
- * 前年度決定のユースコンボケーションの派遣支援

今期活動評価

- * チャリティーランは例年通り多数参加
- * YYフォーラムにもYMCA、ワイズともに多数参加協力していただいたことに感謝。
テーマ内容については、少し準備不足を反省
- * ユースコンボケーションへの1名参加は、前年度決定されたもの。
次年度は今のところ派遣なし。

次期(2011 - 2012年度)への課題

- * YYフォーラムについて次年度はかたちを変えたものにしてほしい。ワイズとYMCAとの相互理解をもっと深めるものにしてほしい。
- * ユースコンボケーションへの派遣支援活動について、各クラブ内での理解を深める。

次期への展望(希望)

- * 上記課題への実施に向けて、ワイズとYMCAとのつながりが、以前より進んできていることが実感されてきているが、YMCAが公益法人として認可された今後もその方向への努力が進められることを願っています。

【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2011年6月21日(火) 19:00~20:45

場所：大阪土佐堀YMCA 601号室

出席者：脇本博会長・北村知三・尾和信孝・松原伸幸・牟大盛・脇本真知子メネット会長

討議・決議事項

1. 7月例会：KICK-OFF, EMC-C

場所：7月12日(第2火曜日)大阪土佐堀YMCA9F 18:15 - 20:15

例会の持ち方：会長交代式・部長団公式訪問日 (3役は登録費なし)

議題について： 決算予算審議 会長方針 年間計画発表 各事業委員長計画発表

その他 部キャビネットにお話ししていただく。

司会：北村メン、受付：森嶋・牟メン、北村メネット

食事：シンエイフード

2. 聴覚障ガイ支援基金拡大運営委員会 HH国内キャンプについて

国内HHキャンプ実施の件(8月13日(土) - 15日(月)) 場所：六甲YMCA

大阪クラブの活動の件：

- 8月12日の前夜祭（歓迎食事会）を持つ場合、HH基金から食費を負担する。
- YMCAリーダーとOBOGの座学研修など（座学研修：6月24 - 26日、チームビルディング：7月30日）の研修費を負担することとする。

第7回拡大委員会 7月11日（月）午後6：30分 土佐堀Y601号室報告

3. 香港九龍（カオルン）ワイズとのIBC締結案について

- 6月会員総会での相互交流から徐々に開始するとの意向決議を受けて、脇本博次期IBC事業委員長が、香港九龍クラブと連絡を取る。
- 今後、大阪Yと香港中華Yとの交流に合流しながら香港九龍クラブとの接触を重ね、IBC締結の可能性を探ることとする。ただ、期限は定めない。

4. パサデナクラブからのホームステイ受け入れの件（北村知三次期IBC委員が窓口）

- 現在、パサデナクラブから人選中との連絡があり、交流訪問の期間の問い合わせがあった。
- 実施期間は、8月例会とHH国内キャンプをはさんだ、8月7日 17日間とする。
- 各受け入れ家庭は、2泊3日を中心にするが、訪問学生の希望を事前に聞くこととする。

5. 会員異動・EMCの件について

- 最終退会者は、前島正一メン、瓜生菊雄メンのお二人を確認した。
- EMCについては、HH拡大委員会参加者のHHOBOGと手話講師奉仕者を含めて、「大阪クラブ部友（Fellowship）」制度を導入し、全員大阪クラブの部友として、例会などの行事に実費参加していただき、徐々に正会員加入の機会をさぐることにする。そのための、クラブ規則の変更案については、松原伸幸メンに依頼した。

6. プリテン編集の件

- 松原プリテン委員長から編集提案があり、承認された。

7. その他行事準備確認の件

- 1) 8月納涼例会の件（キャッスルホテル）：鈴木良洋さん（大阪サウス）チームの「マジックショウ」に内定した。会費 5千円と飲物券とする。
- 2) 各部会：8月28日中部、9月11日京都、17日中西部、23日阪和部、10月1日西中国、2日九州部、8日六甲部、15日瀬戸山陰部、16日びわこ部：できるだけクラブ会員が手分けして参加する事とした。
- 3) YMCA安全の日：クラブとして1万円寄付することを決議した。

【6月例会報告】

北村 知三

6月14日（火）土佐堀会館9階の例会場は、机の配置がいつもの正方形ではなく、Ysのシンボルマークをかたどった逆三角形に並べられていました。書記の牟さんの斬新なアイデアによるものです。定刻6時15分、尾和さんの司会で6月例会が始まりました。ゲスト・ビジターの出席はなく、メンバー11名、メネット2名という少人数ですが、今期最後の例会としてメンバーの熱気が感じられました。

脇本会長の挨拶は、今期は今まで会長経験したなかで一番充実した一年だったこと。それは、聴覚障がい青少年支援事業の拡大委員会を何度も開き、基金の有効な活用を模索して、そのなかから2年毎の国際HHキャンプのはざまとなった今年、国内HHキャンプを立ち上げ、その実施に向けていまやYs事業活動が有意義に進行中であること。すなわち、末岡総主事の参画を実現し、田尻連絡主事の企画により、YMCA主催で六甲YMCAでのHHキャンプのプログラムを組むことが出来たこと、である。一方、その方面に情熱を傾けた分、クラブのEMCへのエネルギーが希薄となり、3人ほどの退会者を出すこととなり、クラブのメ

ンバーが減少しつつある現実を踏まえ、新メンバー獲得の必要性を強く感じていること、などを述べた。

いつもながら、新栄フードさんの美味で豊富な食事をいただいたあと、3つのテーマで今期の評価に進んだ。

まずは、「HHキャンプ支援事業について」、田尻主事から進捗状況の説明があった。3月の東日本大地震のあと、国内HHキャンプ事業拡大委員会のなかで、被災地の青少年を招くという企画が進められていった段階で、津波への彼らの恐怖心を考慮して、海でのキャンプ地から山でのキャンプ地に変更したこと。すなわち当初の場所の阿南キャンプ場から六甲山キャンプ場に変更したこと。そのため参加者募集の案内が遅れたが、現在東北3県と茨城、千葉県の聾唖学校に案内を送り、また今月初め、脇本会長と田尻さんとが、聾唖学校の校長をされていたセンテニアルクラブの新保会長を加えての3人で、大阪府内の聾唖学校を3、4校訪問、または訪問予定し、また案内書も出して参加者を募集していることなどを語った。そして拡大委員会に参加している過去のHHキャンプ参加者のOBOGに、HHキャンプ用のリーダートレーニングの機会を作り、ボランティアリーダー養成の企画があること、などを語った。牟書記より、キャンプ前夜に土佐堀館で大阪クラブ支援の夕食会を開きたい。また北村より、ボランティアリーダーとして参加するHHキャンプOBOGへの経済的支援をしたい、との話があり、最後に脇本会長は、来年の国際キャンプ、再来年の国内キャンプと、将来永続的な支援活動にしたいと、熱意を語った。

次の「香港・九龍（カオルン）クラブとのIBCについて」は、会長からこのテーマの発端について、香港中華YMCA総主事がメンバーでもある九龍クラブから大阪YMCAに、中西部のクラブとIBC契約を結びたいと言う申し出があった、と言うことである。中西部なら大阪クラブ。両クラブともHHキャンプへの支援をしており、実際3年前に香港YMCAのHHキャンプOBOGが多数大阪YMCAに来たときには、大阪クラブが夕食を接待したことがあるし、共通の活動に向けてよい交流となるのではないかと、言った話が起きている。脇本会長が例会での意見交換をまとめた文章があるので下記にします。

「九龍クラブとのIBC締結は基本的には賛成であるが、大阪クラブは現在活動出来るメンバーが少なく、九龍クラブのメンバーと互いに行き来するとなると負担になる。公式なIBC締結は大阪クラブのメンバーがもう少し増えた段階で考えたい。しかし、協働できる事業は確実に行っていきたい。たとえば、香港Yからおいでになった方々の大阪クラブへの例会参加。また、香港Yへ出向いた日本人スタッフが九龍クラブを訪問する、などの活動から始めて、交換スタッフに対する大阪クラブと九龍クラブの相互の接待活動が、大阪YMCAと香港中華Yの交流に少しでもお役に立てるような形から入って行きたい。」

もうひとつの「パサディナクラブからの派遣留学生受け入れのホームステイ」については、北村IBC委員から説明があった。パサディナクラブIBC委員であるキリットさんへ問い合わせしたところ、派遣留学生を探しているが、6月半ばまで待ってほしい、との連絡があったこと。その後の連絡をまだ受けていないが、派遣留学生が来るときのために、受け入れ態勢を今から考えておく必要があると言うことを述べた。（下段に追記あり）

その他、みなとYMCAの廃止から危機にあったヴェクセルクラブが存続することとなり、今後例会の場所を同じ土佐堀館で行うことから、同クラブとの合同例会を、と言う話があり、また区大会で東京クラブとのDBCの話があった、など交流の話が続いた。

後半次期会長の牟さんから次期キャビネット・事業役員のリストが提示、発表された。（別途記載）

脇本会長の最後の閉会点鐘の後、さらに全員に発言の機会が持たれた。

（追記）

その後18日に、パサディナクラブ会長のMr.Brandeenからメールが入り、「現在2名の候補者の内から1名を選抜する予定です。来日の時期について、パサディナクラブの方としては8月が良いが、大阪クラブの方から希望時期をご連絡ください」とのことです。役員会などで時期を話し合い決める予定です。

【第14回西日本区大会参加報告】

北村 知三

6月11日(土) ウエスティンホテル京都、瑞穂の間で、第14回西日本区大会が開催されました。

午後1時半から始まるバナーセレモニーに、脇本会長代行で副会長の私が参加いたしました。西日本区の各クラブ会長が、もっとも東方に位置する中部から順番に1クラブずつバナーを掲げて登壇し、マーシャルにバナーを渡して仁科理事と握手を交わす。わたしにとって2年前の熊本大会から前年の広島大会と3年連続のバナーセレモニーであるが、当日950名余のワイズメンの熱い視線を受けると、80年のクラブの名誉を感じて、何度やっても緊張してしまう。最後尾の九州部まで次々とホールの側面に並び置かれたバナーは、荘重な楽曲とともにすると左右の天井近くに掲げられ、高々とワイズメンズクラブの100の象徴となった。

開会に先立ち、あの3月11日の東日本大震災への犠牲者に黙祷が捧げられた。西日本区仁科理事の開会宣言・点鐘の後、ワイズソング斉唱、聖書朗読・開会祈禱、賛美歌「いつくしみふかき」斉唱が続き、ホストクラブの京都キャピタルクラブ、山田英樹会長が歓迎の挨拶をされた。祝辞は、京都府の山田府知事(大田副知事が代読)から始まり、京都市の門川大作市長、日本YMCA同盟 島田茂総主事、ワイズメンクラブ国際会長の藤井寛敏ワイズ、東日本区理事の松田俊彦ワイズと続いたが、いずれも大震災から手を取り合っ心新たに立ち上がろうと言うワイズメンの温かい気持ちが述べられた。メモリアルアワーでは今年度亡くなられた15名のワイズメンに、黙祷が捧げられた。中西部では、つい6月6日亡くなられた増田健郎メン(大阪千里)を含め、藤川豊基メン(大阪ヴェクセル)、北村孝メン(大阪茨木)、西田卓史メン(大阪土佐堀)の4人の貴重な人材が失われたことになる。

その後、仁科理事挨拶・理事報告があり、区書記の柳慎司ワイズから年次代議員会の報告があった。代議員会は大会に先立つ11時から隣接の京都市国際交流会館で行われており、会長から連絡を受けていた北村副会長が代理出席しました。代議員会での議案決定事項を本文末尾に抜粋します。前半の終わりに奈良伝賞の表彰式が行われ、林秀彦ワイズ(奈良)が受賞された。

休憩の後、9部の部長報告があり、中西部部長報告では、松浦部長が短時間の報告の中で大阪クラブがHHキャンプ支援事業の活動拡大を続けていることを報告された。現在の中西部メンバー数は、174名とのことである。次に7つの事業の事業報告があり、Yサ・ユース事業の亀浦主任は各部で行われたYYフォーラムを紹介し、中西部のYYフォーラムも取り上げてもらった。各事業の表彰式も行われたが、今年度大阪クラブの表彰は目立ったものはなかった。しかし、北村が主査を務めたYサ・ユース事業で、部長とともに推薦した大阪高槻クラブが最優秀クラブとして表彰され、同クラブ川岸会長が壇上で表彰状を受け取られたことは、高槻クラブとともに中西部の誇りとなり、また次年度に向かって、大阪クラブHHキャンプ事業への活動意欲が高まるものとなった。

会場を同じくして、7時から懇親会が始まった。太鼓の音とともに舞台上の座布団の上にかしこまった15ほどの頭が、一斉に揚がると、理事と事業役員など15名ほどの羽織袴姿のお顔である。仁科理事が歌舞伎の舞台口上よろしく、1年間のご挨拶を述べられた。そのあと、アジア地域会長の高田一彦ワイズ(東日本区、横浜)の祝辞と、京都YMCAの神埼清一総主事の食前のお祈りがあって、お待ちかねのディナータイムが始まった。ディッシュが次々と来たが、次期西日本区大会や東日本大震災応援プロジェクトのアピールがあり、さらに大太鼓のアトラクションが続くころになると、多くのワイズメンがあちらこちらのテーブルに行きかい、スナップ写真を撮り、舞台そっこのけということになった。この喧騒は例年の光景ではあるが、年に一度の交流ということで、これがひとつの楽しみで参加することでもあり大目に見てもらいたい。かくして9時半になり浅岡徹夫次期理事の中締めで懇親会のお開きとなった。

今大会、大阪クラブからの出席者は、脇本会長、脇本メネット会長、清水、牟、北村各メンの5名であったが、同日朝の西日本区メネットアワー、午後9時半からのフェロシップアワーと、翌日の理事引継ぎ式

や閉会式には、誰も出席することができませんでした。

「2010/2011年次代議員会議案決定事項」から抜粋（敬称略）

* 2011/2012年度西日本区理事 浅岡徹夫（近江八幡クラブ）

* “ 西日本区次期理事（2012/2013年度の西日本区理事） 成瀬晃三（名古屋クラブ）

* “ 西日本区次次期理事候補者（2013/2014年度の西日本区理事） 高瀬俊彦（岩国みなみクラブ）

第16回西日本区大会ホストクラブおよび開催地

開催年月日：2013年6月1日（土）～2日（日）

開催場所：ホテル「花水木」（三重県桑名市長島町）

ホストクラブ：四日市クラブ 名古屋クラブ（コホスト：名古屋近辺5クラブ）

【第6回聴覚障がい基金拡大委員会報告】

牟 大盛

日時：2011年6月13日（月）午後6：30分～8：45分

場所：大阪YMCA会館 601号室

参加者：大阪クラブ 脇本博会長、北村知三、條イサヨ、牟大盛、田尻忠邦（連絡主事）（以上大阪クラブ）

HHキャンプOBOG 西村智恵、高土雄輔、小山真利子、桜木貴博、吉田亜衣

伊田洋子さん（手話通訳奉仕）、立山英展（Y統括部スタッフ） 以上 12名

進行司会：田尻忠邦連絡主事、手話通訳：伊田洋子さん

議題：1. 大阪YMCA内部調整進捗状況報告

1) 脇本博基金委員長・会長開会あいさつ：経過報告と府内の聾学校・支援学校訪問報告があった。

2) 田尻忠邦連絡主事からつぎのとおりの中身の進捗状況について説明があった。

東北大震災被災地の聾学生を参加に加えるプログラムの過程で、阿南キャンプから六甲YMCA、日程は、ユースリーダーの関係で8月13, 14, 15日（金～月）に変更となった。

5月中旬にHH国内キャンプ救済支援プログラムとして聾と発達障害支援をYMCAから認証受諾した。

今年の連休明けに、副総主事が宮城県を訪問しHH国内キャンプと国際キャンプについて説明したところ、そのようなプログラムの存在も初めてとのこと。岩手県、福島県、千葉県、茨城県などには文書で案内を出しているとのこと。

3) 募集、広報

募集要項送付：宮城県立聴覚支援学校（33部）、千葉県立千葉聾学校（76部）難聴児親の会（5部）

府内学校訪問：6月9日（木）脇本会長・新保さん・立山さん：大阪府立生野聴覚支援学校、府立だいせん聴覚高等支援学校、新保さん・田尻主事：府立堺聴覚支援学校

6月16日（木）は、市立聴覚支援学校に脇本会長・新保さん・田尻主事・立山さんが訪問予定

その他の広報ツール：OBOGを通して、国立茨城県つくば大学聾学校、関西学院大学などを広報予定。

4) リーダー養成トレーニング（大阪YMCA主催）への参加について

- 5月3・4・5日に西村姉妹と條さんが参加予定であったが、大学生を対象としたハードトレーニングのプログラムであったので、今回は見送ったが、HH国際キャンプのリーダートレーニングなど座学を中心に参加の予定とのこと

5) プログラムについて

8月13日のプログラム開始の前日の12日に、東北大震災被災地からのキャンパーが到着予定のとのこと

る、大阪市内観光（大阪城など）のあと歓迎会を兼ねた夕食会を準備する。

- その他、阪神大震災を再現した神戸の「人と防災未来センター」(神戸中央区脇浜)などの社会見学もプログラムに入れる案が出た。

- ホスト側の参加者：YMCAリーダー 4名、OBOG 4名ほど、大阪ワイズ 3-4名予定。

6) リーダーとOBOGが下見と準備を兼ねて六甲YMCAを訪問する(チームビルディング)

7) 7月2日(土)午後4:00から土佐堀YMCA 601号室で説明会を開催する。

第7回拡大委員会を、2011年7月1日(月)午後6:30分、土佐堀Yの601号室を確認。

【次期役員候補者名簿】

新年度(10~11年度)の役員候補者は、次のとおりです。

会長	牟 大盛	副会長	森嶋弘明、清水 汎 豊島正利、松原伸幸		書記	脇本 博(正)、森嶋弘明(副)	
会計	尾和信孝(正)、北村知三(副)		直前会長	脇本 博		連絡主事	田尻忠邦
幹事	遊上義一、宇野義男		会計監査	遊上義一、向井忠治郎		メネット会長	崔 金順
YMCA	清水 汎、條イサヨ	BF・EF	清水民夫	EMC	森嶋弘明	CS	武村光雄
ASF	北村知三		尾和信孝		末岡祥弘	TOF	森嶋弘明
IBC	脇本 博、北村知三		文献	宇野義男	ブリテン	松原伸幸、清水汎、武村光雄	
YEPP	田尻忠邦		物品	向井忠治郎		脇本博、牟 大盛	
ドライバ ー・広報	豊島正利、森嶋弘明 尾和信孝		トラベル コーディネーター		武村光雄	聴覚障害青少年育 成基金委員会	牟 大盛(委員長) 田尻忠邦(副)
メール委員	牟 大盛						

【メネットコーナー】

【メネット就任あいさつ】

崔 金順

2007年につづき2回目のメネット会長として、牟会長の補佐をさせていただきます。

特に今年は、9月のメネット月間をはじめ、国内HHキャンプやパサデナクラブからの学生の受け入れなどメネットとしてもじっとしてられない1年となりそうです。

私は、教会関係の役員でもあり、なぜか第二火曜日に牧師先生方の都合がいいのか、教会役員会が常に第2, 3火曜日に開催されます。その関係で全部の例会に出席できないかもしれませんが、皆様のご理解をお願いいたします。

大阪クラブの会員メンのサポート役としてのメネットですが、いろんな事情で全メネットがなかなかご参加できていません。この1年はできるだけお声をおかけしましてメネット同士の親睦をはかりたくおもいます。諸先輩のご指導をよろしくお願いいたします。

【YMCAニュース】

第219回大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人々と一緒に祈る時(第3金曜日)を持っています。YMCAの様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

日 時：7月15日(金) 7:30~8:30

証 し：奥田時夫さん(大阪YMCA常議員)

場 所：大阪 Y M C A 会館 問合せ：大阪 Y M C A 国際・社会奉仕室 Tel:06-6441-0894

【南 Y M C A キリスト教オープンセミナー】

南 Y M C A では、今年も標記セミナーを行います。今回は、原発被曝労働を続ける日雇い労働者との出会いをきっかけに、十数年前から原発問題に取り組んでこられた日本福音ルーテル稔台教会の内藤新吾牧師に、キリスト教から見た原発の諸問題を取り上げていただきます。どなたでもどうぞご参加ください。

- ・講 師：内藤新吾牧師（日本福音ルーテル稔台教会（千葉県）牧師）
- ・日 時：8月17日（水）午後2時30分～4時30分
- ・テーマ：「原発と私たちの暮らし - キリスト教からの視点 -」 ・参加費：無料
- ・定 員：50名（7月11日（月）から受付です。） 8月6日（土）～8月15日（月）はお休みです。
- ・お申込：お電話または FAX でのお申し込みとなります。 電話：06-6779-5690 担当 小川・貝
FAX：06-6779-1831 住所：〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町9-52
- ・主 催：大阪南 Y M C A キリスト教委員会

【会費納入のお願い】

会計 尾和 信孝

7月から新年度に入りますので、会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

1) 正会員	会費前期分	35,000円
2) 広義会員	会費1年分	25,000円
3) ネット特別会員	会費1年分	16,000円

会費振込み口座

三菱東京 U F J 銀行 谷町支店 普通口座 1036689
口座名義 大阪ワイズメンズクラブ会計 尾和 信孝

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 国内 H H キャンプ・・・8月13日（土）～15日（月） 場所：六甲 Y M C A
2. 中部部会・・・8月28日（日）
3. 京都部会・・・9月11日（日）
4. 中西部部会・・・9月17日（土）
5. 阪和部会・・・9月23日（金・祝）
6. 西中国部会・・・10月1日（土）
7. 九州部会・・・10月2日（日）
8. 六甲部会・・・10月8日（土）
9. 瀬戸山陰部会・・・10月15日（土）
10. びわこ部会・・・10月16日（日）

参加希望者は、脇本書記宛（090-9286-0108 fax 06-6761-9713）ご連絡ください。

なお、大阪クラブの8月例会は、納涼例会です。ビジター、ゲストを是非お誘いください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06) 6631-2169

【編集後記】

牟新会長の船出です。メンバーの減少が進む大阪クラブにおいて、明るく、思いやりに満ち溢れ、実行力に富む新会長の再登板により、必ずメンバーの増強が叶うものと期待しています。今月号は、北村メンに過大な負担をお願いし、感謝です。（編集委員：松原伸幸）